

ご挨拶

どう生きようか、生きようぞ



世の中、問題が山積していますが、新たな年どの様に御過ごしでしょうか。自然災害、凄まじい戦乱、全て他人事でなく身近です。どう見つめ、どう対していくか。朗読の世界も問われます。

何を読み何を伝えていくか。どう読みどう伝えていくか。

釈迦に説法ですが、読み方伝え方の上手いか否かではなく、深く新鮮な内容と心の在り方、生き方が問われます。

読み手の生き方がしっかり見える朗読世界は人を惹きつけます。折に触れて口をついて出てくる言葉「どう生きようか、生きようぞ」その声がひそんでいる朗読こそ伝わります。

「NPO日本朗読文化協会」皆様の公演、発表会、今年も耳を澄ませます。

名誉会長 加賀美幸子

NPO 日本朗読文化協会における人権尊重について



私たちNPO日本朗読文化協会は朗読文化のさらなる普及と発展を目指し、日々活動しております。私たちの活動は、会員、講師の先生方、朗読イベントに係るスタッフの皆さん、そして、

会場に足を運んでくださるお客様など多くの方々に支えられております。私たちは社会の一構成員であり、大きな責任を負って活動しております。

しかし、私たちの活動が潜在的にあるいは実質的にこの方々に対する人権への影響を及ぼす可能性があることを理解しなければなりません。協会が更に発展するにあたり、私たちは、人権を尊重し、侵害しないように常に当事者意識をもって活動することが求められております。

この考えに基づき、2024年5月26日の理事会において「人権尊重」を当協会の基本方針とすることを採択いたしました。

<人権尊重の基本方針>

NPO日本朗読文化協会は、協会存続の基本方針として「人権尊重」を掲げ、会員、講師、一般公衆など全ての方々を大切にし、人権に配慮した活動を行うことを宣言します。このため当協会における人権に対する姿勢や取り組みを明確にするための具体策を策定、活動に反映してゆくことにします。

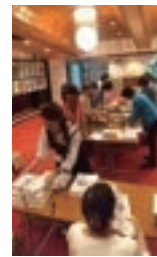
会員の皆様におかれましては、本方針をご理解いただき、共に推進していただきますようご協力をお願いいたします。

理事長 伊澤逸平



心と声 響き合う 朗読の世界を！

これまでの集大成と共に、新たな表現方法へのチャレンジを通して、過去から未来へつなぐ第 20回「朗読の日」。様々な作品をお客様にお届けしました。



第20回「朗読の日」の挑戦

◆演出：永井寛孝

初めて関わらせて頂いた第20回公演は、それぞれのブロックに演出家提案のグループ作品が織り込まれ、お客様の反応も含めて楽しめる内容になりました。個人の作品は元よりグループ作品は、参加者の挑戦と発見という意味でも今後の公演に向けて新たな種蒔きになったのではないかと思います。やがて芽が出て花開きますように。

◆朗読劇「瘤取り」『お伽草紙』より

朗読劇へチャレンジ、合同練習を重ねた新たな試みが可能性と喜びを広げ、楽しさを提供しました。



▲Aステージ、朗読劇
▼Cステージ、朗読劇



「朗読劇」に参加して

◆武笠守博

「朗読劇、ちょっと怪しく、不思議で魅力的な楽しい世界、素敵な時間でした。」



Aステージ カーテンコール 司会・木村さおり



◆グループ朗読 佐藤愛子エッセイ、倉本聰『ニンゲルの森』より

佐藤愛子さんの世界、倉本聰さんの世界を分かち合い、それぞれの持ち味を生かして、作品の世界を上げました。



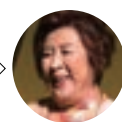
▶Bステージ、グループ朗読

初めて「朗読」に参加して



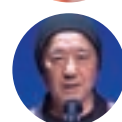
◆近藤朋子

「四人で読んだ佐藤愛子作品。大きな力を頂き、第20回記念の舞台に感謝です。」



◆澤則子

「初参加は楽しかったの一言。それぞれの佐藤愛子さんを満喫！」



◆松岡巧

「新しい仲間と一緒に一つの作品を読む事が出来たのが最高でした。」



▶Dステージ、グループ朗読



Bステージ カーテンコール 司会・稲本由美子



◆加賀美講座 「やさしく嬉しい“漢詩”」

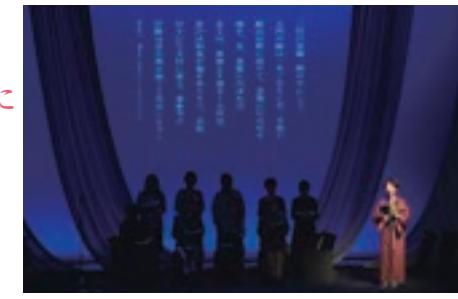
「切磋琢磨」など、心に響く、元気の出る漢詩をみんなで朗読。国や時代を超えて人々の気持ちは同じとを感じるひと時でした。

「加賀美講座」に触れて

◆佐藤すみ江



「改めて古典を学ぶ機会を頂き、徐々に感慨深くなり、それが朗読の日の舞台でした。」

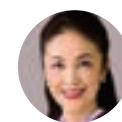


▲Bステージ、加賀美講座

◆20回連続出演

一人ひとりが歴史を積み重ね、「朗読の日」を創る。それぞれの研鑽と朗読への情熱が過去から未来へ引き継がれます。

「朗読の日」の20回を振り返って



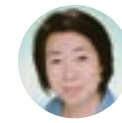
◆飯島晶子

「終着駅 読む度に遠く近くまた遠く、朗読の醍醐味 探し続けて20回。」



◆松島邦

「20年ふた昔。博品館劇場・10分勝負・台本・練習・熱意は不変。」



◆早川とし子

「会員の朗読力アップの為協会発起人の発案で始まった朗読の日大切にしたい。」



Cステージ カーテンコール 司会・松坂貴久子



◆チームワーク

出演者がスタッフに、スタッフが出演者に。表も裏も分り合えることから生まれる連携プレー。総合力の賜物です。



お陰様で、出演者数、来場者数ともに過去最高！朗読の楽しさを知っていただく活動は、既存の枠にとらわれず自由な発想で、未来に向けて進化させていきます。

第20回「朗読の日」を終えて

◆実行委員長：阿部俐奈

「第20回記念朗読の日」は「総括と未来に向かって」をコンセプトとして総合演出家に永井寛孝氏をお迎えし、新演目にも挑戦。また、これまでの20回分のチラシを展示し歴史を振り返りました。延べ総数として、出演80名、入場者1,237名、スタッフ107名。未来に向かって活気溢れる二日間でした。

第20回「朗読の日」実行委員

阿部俐奈（実行委員長）、前尾津也子（実行副委員長）、飯島晶子（アドバイザー）朝比奈恵美、阿部公子、岩崎三恵子、岡田久美子、小黒三重子、木村さおり、斉藤ゆき子、田中邦子、中谷良史、中村悦子、堀越幸子、本間尚子、松坂貴久子、三上実枝子、武笠守博、山田和雄、山村都



Dステージ カーテンコール 司会・斉藤ゆき子



鯉から龍へ

◆演出：倉田ひさし

「朗読アラカルト」は、日本朗読文化協会のメインイベント「朗読の日」への登龍門という位置づけです。ご存じのとおり登龍門とは、鯉が黄河をさかのぼり、龍門の滝を登りきったら「龍に化す」という伝説が由来です。第17回「朗読アラカルト」は、例年にも増して多くの参加者がありました。ここから何人の方が龍となって育っていくか、それを楽しみにしています。

第17回朗読アラカルト ～朗読の花開く～

◆実行委員長：木村さおり

2024年12月1日(日)に「第17回朗読アラカルト」を無事終える事ができました。

今年は新たに5分枠の出演者、グループでの出演を募集し、初出演の方や遠方からの参加も多数！当日は、およそ200名のお客様にご来場いただきました。皆さま、ありがとうございました！

Aステージ カーテンコール A、B司会・松坂貴久子



Bステージ カーテンコール



Cステージ カーテンコール C、D司会・鶴月光子



Dステージ カーテンコール



つながる ひろがる 朗読の輪



年末恒例の読み納め朗読アラカルト
大勢の初参加を迎え賑やかに開催されました！



受付スタッフ、準備に
おかわらわ(上)
いよいよ舞台へ(右上)
河崎教室本番直前の
笑顔(右下)



◆初出演者のひとこと

今年は多彩な初出演の皆様。
そして新たな試みグループ朗読も披露されました

◆巳年後えつこ

「声に感情を込める楽しさを実感した初舞台。支えて下さる方々に感謝です。」

◆きさらぎゆうこ

「スタッフの方々が丁寧に誘導してくださったので安心して舞台に立てました。本当に有難く感謝しております。」

◆河崎早春教室「春が来た」グループによる朗読劇「猫でござる～蚤取り屋お玉 脇ばたらき～」



◆河崎早春

「全員揃わないと稽古できないので、熱い稽古を頑張った皆に乾杯。」

協会の活動報告

[朗読研鑽委員会]

朗読研鑽委員会では朗読を学ぶ・伝えるための基本計画の策定、活動計画の立案、実施及び評価を行う任務を担っております。委員8名をもって毎月1回定例会議を開催、協会における朗読の在り方について広く話し合いを重ねながら、講座の企画、運営計画を立案し、実施しております。

加賀美幸子特別講座をはじめ、3期目となった2024年4月開講の朗読指導者養成講座は、各界でご活躍の7名の講

師から多岐にわたる教をいただき、1年間の充実した講座です。また、朗読基本講座は2回目が2024年4月～、3回目が10月～、それぞれ3か月間の中で、伝えるために大事なポイントや言葉の大切さ、朗読の楽しさを学んでいます。そして2025年1月～3月までは山登義明特別講座を開催しております。

伊澤逸平



「朗読基本講座」

「朗読指導者養成講座」



[高輪朗読会]

高輪区民センターギャラリーにて隔月開催の「高輪朗読会」は、毎回大勢の朗読愛好者が集います。出演者は研鑽を積み、とっておきの作品をお届けしています。

第9回(1月12日)は新春拡大版として高輪区民ホールにて開催。約200名のお客様をお迎えし、新春気分あふれる朗読をお届けしました。

今後の開催は3月8日、5月10日、7月5日、9月6日、11月30日、2026年1月10日、3月7日の予定です。

※ぜひ、あなたも高輪朗読会の舞台へ

高輪朗読会登録審査受付中です。事務局からのお知らせをご覧ください。2月末までに協会事務局にお申込みください。来期より登録審査は年1回10月末締切となります。

田中邦子



第8回「高輪朗読会」



第9回「高輪朗読会」



第10回「高輪朗読会」のご案内

[グループかもめ]

◆2024年11月3日(祝) 旧乃木邸朗読会を終えて

秋空の下、旧乃木邸一般公開最終日に開催した朗読会は、多くのお客さまの来場があり、また主催者・港区関連や乃木神社の関係者の方々からも賞賛の声をいただきました。御礼の言葉と共に、来年もよろしくという嬉しいお言葉を頂戴しました。更にグループかもめの活動の場が広がりました。



◆吉報!! 「第73回東京都社会福祉大会」

東京都社会福祉協議会会長感謝状 受賞式に出席!

表彰式は2024年12月24日(火) 東京都庁第一本庁舎5F大会議室(参加者約500名)にて盛大に行われました。これは

私たちメンバーの日頃の地道な活動が評価されたことと嬉しく受け止め、自覚をもって尚一層のコミュニケーションを大切に、愉しく活動に励んでいきましょう。グループかもめ! また一歩前進です!

◆「かもめ朗読会」について

速報/3月31日(月) 高輪区民ホールで開催いたします。詳細は、同梱のチラシをぜひご覧ください。皆さまのご来場を、かもめならではの嬉しい企画で心よりお待ちしております。

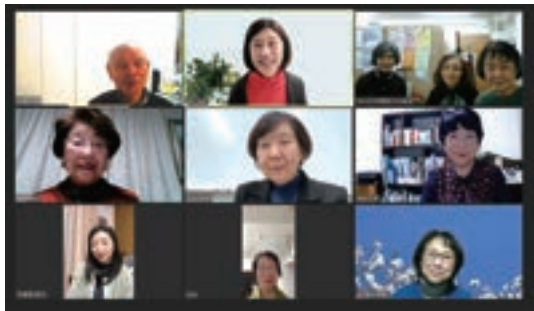
山村都



●新入会員オリエンテーション

2024年3月に2回と7月に2回、ZOOMで新入会員オリエンテーションを行いました。協会の歴史、組織、「朗読の日」や「朗読アラカルト」等の各行事、ボランティア活動、講座等についてご説明。その結果、「朗読の日」の当日スタッフや「朗読アラカルト」への参加も増えたようで嬉しいです。

前尾津也子



●第2回朗読座談会

2024年2月10日（土）、青山の東京ウィメンズプラザにて、「上手い朗読って、何？ ～これで良いのか！私の朗読～」をテーマに第2回朗読座談会を開催しました。会場には80名を超える参加者！一緒に朗読について考えました。当日の様子を後日、全会員と一般の希望者に動画配信しましたが、遠くて参加できない地方の方からも好評でした。第3回「朗読座談会」の開催も検討中です。

前尾津也子



●たかなわえほんのひろば

2024年8月10日（土）・10月27日（日）に高輪区民センター展示ギャラリー室で絵本の読み聞かせを実施いたしました。読み聞かせ担当はそれぞれ3名ほどで、当日に3名程の方がお手伝いに協力してくださいました。次回は2月9日（日）の予定です。

中田真由美



●千葉いきいき大学

2024年9月30日（月）300名を超える方々を前に、第6回目の千葉・いきいき大学での教養講座。「朗読を通して知る古人の智」という題でのお話と、古箏演奏家・愛琴さんの楽器演奏とともに、朗読を行いました。お話し・朗読：阿部侗奈、朗読：浅霧ひとみが参加しました。

阿部侗奈



●おはなしサンタ

横浜を拠点に活動なさっている、読み聞かせグループ「おはなしサンタ」さんの20周年記念行事として、メンバーの為のワークショップを行いました。2024年5月と6月に一度づつ、各回15人ほどの皆さんが、ご自分の発声や朗読の課題に熱心に取り組まれました。

蔭村三枝子

●三芳町朗読ボランティアの会「けやき」朗読講座

三芳町からの依頼で広報誌の音声朗読をされている方々に2024年5月より6回に亘り朗読講座開催。30年以上の方から2年の方まで12人。短い作品を2回で終えて最後は発表。皆様笑顔で取り組んで下さいました。2025年も継続。

稲本由美子

●さいたま文学館

◆「夜カフェ 文学タイム」
2024年9月18日（水）19：00～20：00 桶川駅近くにあるさいたま文学館にて十五夜の翌日、小川未明「傷ついた線路と月」を朗読。お客様と近い距離での朗読は緊張感がある一方、息遣いが言葉の様に感じた、夜の空気が話とマッチし浸れました等感想を頂きました。

齊藤ゆき子



◆「ちょこっと朗読劇」

2025年1月26日（日）13：30～14：30 1階文学ホールにて開催された、「ちょこっと朗読劇」に出演、夏目漱石「我が輩は猫である」と、「文学作品の中の漢詩」を阿部侗奈が、浅田次郎「月島慕情」を永井喜代子が朗読しました。200名定員のホールでの、貴重な公演の機会となりました。

木村さおり



協会の活動報告

●カルチャーセンターへの講師／朗読者派遣

開催場所	講師	日程
三越カルチャーサロン	内藤和美 稲本由美子	毎月第2木曜日
セブンカルチャークラブ 亀有	松島邦	毎月第2・4火曜日
ひばりが丘 カルチャーセンター	松島邦	毎月第1・3水曜日
稲毛海岸 カルチャーセンター	宮崎弥生	毎月第2・4土曜日
エルミ鴻巣 カルチャーセンター	松坂貴久子	2024年10月より 毎月第2水曜日

●朗読研鑽委員会及び三室長・室員就任について

新たな年度の運営が始まっています。任期は2024年10月～2026年9月の2年間。

■企画室（7名）

室長 稲本由美子
室員 足立美津子 木村さおり 高橋貴美 東海林明
永井悦子 山村都

■事業運営室（8名）

室長 前尾津也子
室員 朝比奈恵美 阿部公子 鶴月光子 田中邦子
中谷良史 本間尚子 松坂貴久子

■事務室（5名）

室長 山田和雄
室員 小黒三重子 川名まち子 中村悦子 中村純子

■朗読研鑽委員会（8名）

加賀美幸子 伊澤逸平 阿部俐奈 朝比奈恵美
岩田理加子 稲本由美子 木村さおり 前尾津也子

2025年度のイベント

出演も観覧もサポートも、みんなで盛り上げていきましょう！

●第21回「朗読の日」

2025年6月21日（土）、22日（日）の2日間、銀座博品館劇場において第21回「朗読の日」を開催いたします。今回は初出演が10名を超え、4ステージで60名以上が出演予定です。個人朗読に加え、グループ朗読もお楽しみください。出演者も、また、サポートするスタッフも気持ちを一



つに、「心と声 響き合う朗読の世界を！」作っていきましょう。私たちの想い、お客様の心に届きますように。

●第18回朗読アラカルト

12月15日（月）、麻布区民センターホールにて、第18回朗読アラカルトを開催いたします。初出演の方も大歓迎！この機会に、あなたもぜひプロの演出家によるステージへ。12月の六本木はクリスマスイルミネーションも綺麗です。



協会員工エッセイ〈北から南から〉

NPO日本朗読文化協会の会員は全国で活躍中。

皆様それぞれの想いをもって朗読の活動をされていますが、今回は、日々邁進しておられる協会員お二人に、地方会員ならではの協会との関わり方を、自身の朗読に対する想いと共に綴っていただきました。



◆高橋貴美（北海道）

朗読の本質を更に追求したいと思いながらも子育てや地域的ハンデがあり、協会は憧れるだけでした。朗読指導者養成講座第一期生として上京の機を得たことをご縁に念願の入会を果たしました。

協会は志ある取組みや北海道に居てはお会いできない講師の講座が多く、朗読にまっすぐで熱心な先生やお仲間に関われて幸せを感じるとともに、“朗読は人なり”を実感しています。



◆岩瀬弥永子（徳島県）

自分らしい朗読探し、共鳴できる朗読探しを求め、徳島から飛行機で往復3時間通い続けていますが、山は高まるばかり。

「朗読の日」公演の魅力は、聞きに来て下さる方が素晴らしい、プロのスタッフ集団が創るステージに立てる、プロのみ出演可能な博品館劇場で。

私は四国放送番組パーソナリティです。特に加賀美先生の古典・漢詩からは沢山の学びをいただいております。

掲示板 会員の朗読会と活動情報(2025年2月～)

日 程	公演名※開催日順・申込み順	場 所	出演者名※複数の場合は、50音順
2月16日	「公津の杜朗読会」	YNサロンホール (千葉/成田市)	永井喜代子
2月16日	こえのしらべ 「細雪」よりそれぞれの別れ	芦屋ルナ・ホール(兵庫/芦屋市)	近藤朋子 山木梨可
2月24日	安房直子のファンタジーを 味戸ケイコのイラストと共に聴く会	アーマーズピンクドア (東京/豊島区)	中村悦子
3月2日	真壁のひな祭り朗読	西岡本店 (茨城/桜川市)	木村さおり
3月8日	第10回高輪朗読会	高輪区民センター (東京/港区)	関まさ子 高橋貴美 羽村郁子 渡部玲子
3月10日	KIREI de SHOW	ティアラこうとう (東京/江東区)	寺田理恵子 中村悦子 松坂貴久子
3月11日	「表現する女たち」古事記から現代まで	朝日カルチャー(千葉/千葉市)	飯島晶子
3月14日	三人の会	清澄庭園 (東京/江東区)	阿部俐奈 三上実枝子
3月20日	自由が丘 あおぞら朗読会	緑ヶ丘文化会館 (東京/目黒区)	田中邦子
3月22日	Sprig has come!	ピアノカフェ・ベビシュタイン (東京/港区)	飯島晶子朗読教室 (有志)
3月22日	ジオルジュ・サンドの回想録〜ショパンとの愛〜	宇都宮美術館 (栃木/宇都宮市)	青木ひろこ
3月22日	「朗読散歩」"わたし・わたくし"を声と音で表そうかな。	音部屋スクエア (東京/新宿区)	松島邦
3月23日	ちょこっと朗読劇	さいたま文学館 (埼玉/桶川市)	木村さおり 東海林明
3月29日	「声の劇場」	東武ホテルレナント東京 (東京/墨田区)	永井喜代子
3月31日	かもめ朗読会	高輪区民センター (東京/港区)	かもめ
4月13日・25日	きらめきサロン朗読会2025春PART1・PART2	希望の郷交流センター (埼玉/三郷市)	松坂貴久子
5月25日	橘月の午後	一柳庵(東京/杉並区)	青木ひろこ
6月21・22日	「朗読の日」	銀座博品館劇場 (東京/中央区)	NPO日本朗読文化協会会員
8月10日	被爆ピアノコンサート「未来への伝言2025」	練馬文化センター(東京/練馬区)	飯島晶子
8月11日	音楽×朗読ライブ 怪談 浴衣女の輪Vol.4	五反田文化センター (東京/品川区)	きさらぎゆうこ 前尾津也子
9月6日	手回し蓄音機の演奏と詩の朗読	俊カフェ (北海道/札幌市)	高貴漢 富田欽一 シムラタツヤ 前尾津也子
9月7日	朗読四都MONOがたり2025	札幌資料館 (北海道/札幌市)	高貴漢 富田欽一 シムラタツヤ 前尾津也子
10月4日	アンシャンテ朗読会	NOVA HALL (ノバホール) (茨城/つくば)	木村さおり 本間尚子
11月3日	音楽と古典文学レクチャー＆コンサート	さいたま文学館 (埼玉/桶川市)	阿部俐奈
11月16日	「源氏物語・六条御息所」舞踊と朗読	代々木能舞台 (東京/渋谷区)	飯島晶子

【高輪朗読会予定】2025年5月10日・7月5日・9月6日・11月30日・2026年1月10日・3月7日 (出演者：高輪朗読会登録会員)

事務局からのお知らせ

★2025年度会費納入のお願い

3月末日までに下記口座へお振込みくださいますようお願い致します。
年会費 正会員：12,000円 学生会員：5,000円 (学生証のコピーを添付下さい)

【ゆうちょ振替口座】

記号・番号：00130-3-371259 NPO日本朗読文化協会

★ボランティア保険加入 (期間：2025/4～2026/3) のご案内
全会員を基本コースに加入申込み致します (保険料350円は協会負担)。天災コース (保険料600円) をご希望の方は、追加保険料250円を会費と共にお振込みください (通信欄にその旨をご記載下さい)。また、ボランティア保険を他所で加入済の方は事務局へご一報下さい。

★高輪朗読会登録審査の受付及び運営費の支払い

▶審査は、お読みになりたい作品の冒頭5分間を、音声データ (MP3推奨・メール添付・音源に応募者の名前を吹き込まない) にて、2月末までに協会事務局にお送りください。

▶高輪朗読会メンバー (38名) は運営費1,000円 (印刷費・送料など) を、毎年3月に協会年会費振込用紙通信欄に記載してある「高輪朗読会運営費1,000円」にレ点チェックし、お振込み下さい。
※高輪朗読会は他のイベントと同じく、独立採算制を2024年度に導入いたしました。

★朗読教室2025年4月期申込み受付開始

会員 2月18日 (火) 10:00～

一般 2月21日 (金) 10:00～

▶詳細は同封の「朗読教室のご案内」をご覧ください。

★朗読指導者養成講座2025年度申込みについて

4月開講を予定しておりますが、詳細は協会ホームページをご確認の上、お申込みください。締め切りは3月15日 (土)。その後選考があります。

★新入会員情報

2024年1月～12月入会55名



編集後記

昨年は会員皆様の熱い思いと共に第20回「朗読の日」を盛大に迎えることができました。21回目の本年もまた舞台上で朗読できる喜び、聞く喜びを皆様と共有したいと思います。

今年は巳年。力を蓄えていたものが芽を出す起点の年、また再生と誕生を意味する年だそうです。皆様の御活躍をお祈りいたします。(U)

担当：朝比奈恵美 阿部公子 嶋月光子 田中邦子 中谷良史
本間尚子 前尾津也子 松坂貴久子

